

# 病院年報

平成27年



医療法人 恒貴会  
協和中央病院

# 目次

## 1. 事業計画

- 1) 平成28年度 協和中央病院 事業計画
- 2) 平成27年度 協和中央病院 事業計画

## 2. 臨床指標

- 1) 患者満足度調査（入院・外来）
- 2) 紹介患者率
- 3) 逆紹介患者率
- 4) 死亡退院患者率
- 5) 退院後6週間以内の緊急入院率
- 6) 入院患者の転棟・転落発生率
- 7) 褥瘡の院内発生率
- 8) 急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率
- 9) 急性脳梗塞における入院死亡率
- 10) 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療（止血術）の施行率
- 11) 胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の施行率

## 3. 診療実績

- 1) 協和中央病院年度別患者延数
- 2) 平成27年度診療科別・月別患者数（外来患者延数）
- 3) 平成27年度診療科別・月別患者数（入院患者延数）
- 4) 年齢別患者数
- 5) 地域別患者数
- 6) 放射線科年度別検査件数
- 7) 検査科年度別検査件数
- 8) リハビリ科年度別リハビリ件数
- 9) 歯科口腔外科年度別患者延数
- 10) 健康医学管理課年度別人間ドック等実施者延数
- 11) 居宅支援事業年度別患者延数
- 12) 通所リハビリ年度別患者延数
- 13) 手術件数（上位20項目）
- 14) 疾病中分類
- 15) 年度別救急時間外患者数

# 【平成28年度 協和中央病院事業計画】

## I. 【目的と役割】

1. 患者様の人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた医療を提供します。
  - ・患者様には十分な説明を行い、安心して医療を受けられるよう努めます。
2. 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽します。
  - ・各職員が自己研鑽を積んで、より良き医療人になるべく努力します。
3. 地域の急性期医療に貢献する病院をめざします。
  - ・積極的に救急の患者様を受け入れます。
4. 地域の要望に応えられる医療を提供します。
  - ・介護・福祉施設と協力し、最適な医療を提供いたします。
  - ・退院後に在宅医療を必要とされる方には、引き続き支援を行います。
5. 健全経営を目指します。
  - ・各職員がコスト意識を持ち、無駄のない医療の提供に努めます。

## II. 【協和中央病院院長 年度目標および目標設定】

### 1 健全経営を目指す

病院・施設の強みを強化し、選択と集中により経営の健全化に取り組む。

- (1) 採算性を重視した選択と集中を基本に病院運営の再構築をおこなう。
- (2) 診療報酬改定の適切な対応と施設基準等の再検討をおこなう。
- (3) 診療報酬改定に即した薬品等の値引き交渉を積極的におこなう。
- (4) 資金収支を重視した収入の確保と収支の改善をはかる。
- (5) 診療科別・医師別原価計算を実施し医業利益の確保につとめる。
- (6) 業務改善と効率化を推進し間接コストの削減につとめる。
- (7) 経費項目ごとにシーリングを設定し、費用の削減をはかる。
- (8) 適正な基準を満たさない委託業者との委託契約の見直しをおこなう。
- (9) 納品業者選定を契約更新時および定期的におこない経費の削減をはかる。
- (10) 採用品目の選定を年度毎及び定期的におこない経費の削減をはかる。
- (11) 職員の帰属意識および危機管理意識を高めるために経営管理の情報提供を積極的におこなう。

### 2 診療体制の充実をはかる。

病院・施設運営と地域に必要な医師の確保をはかり、併せて計画的に医療機器の導入と更新をおこなう。  
地域に必要な診療体制を確保する。

- (1) 診療体制の維持及び収入確保のために医師の確保をはかる。
  - ・診療充実のため更なる内科、外科医師確保をはかる。
- (2) 救急患者の受け入れ態勢を強化する。
- (3) 診療報酬改定に向けた優位性のある施設基準を選択する。
  - ・新規3. OTMRI導入にともなう施設共同利用の推進をはかる。
  - ・地域包括ケア病室増床の検討
  - ・栄養サポート加算に向けた取り組み

- (4) グループ施設間の連携を強化し患者・利用者のサービス向上をはかる。
- (5) 地域の需要や医療計画に沿った診療体制の整備をおこなう。
- (6) 医師の診療サポート体制を強化する。  
診療の質の向上のため医師事務補助の業務拡大のための教育と継続の実施。

### 3 次世代を担う人材育成と必要な人員確保をはかる。

病院の運営に必要な人員の確保と教育体制の充実をはかるとともに、次世代を担う人材育成に取り組む。

- (1) 必要人材の確保のために採用条件の再検討および見直しをおこなう。
- (2) 業務内容に応じた雇用形態の再構築をおこなう。
- (3) 退職者および産・育休、長期病欠者の補充について、当該部署の責務の明確化および共同で職員確保に取り組む体制を構築する。
- (4) 新人教育体制の見直しをおこない、教育の充実と離職防止に努める。
- (5) 役職者等の教育体制を構築し、次世代を担う人材の育成をはかる。
- (6) 採算性と年金制度を踏まえた再雇用制度の再構築をおこなう。

### 4 建物および設備の計画的補修と整備をおこなう。

建物および設備の計画的な補修と、病院の運営に必要な整備を行なう。

- (1) 歯科ならびに歯科口腔外科充実をはかるため、拡張改修工事を行なう。
- (2) 老朽化に伴う本館を中心に建物や設備改修を計画的におこなう。
- (3) 建物施設の安全管理体制を構築する。
- (4) 老朽化した設備等の定期点検計画及び改修計画の策定を行う。

### 5 危機管理体制の充実をはかる。

災害時における包括的な危機管理体制を構築するとともに、医療事故等の院内リスクに対する予防対策を充実させる。

- (1) 自然災害及び人為災害に対応する危機管理体制を見直す。  
・災害対策 BCP(事業継続計画)を策定し、模擬訓練を実施する。
- (2) 犯罪行為等に対する安全対策を構築する。
- (3) 電子カルテ、オーダーリングシステムのシステムダウン時の対応を構築し、訓練を実施ならびに外部データ保管計画を具体的に構築する。
- (4) 緊急時連絡体制の内訳を明確にし、定期的な訓練を実施する。
- (5) 医療事故や院内安全対策等の強化をはかる。
- (6) 苦情処理や訴訟等の事案について対応策を強化する。

### 6 職員の環境づくりの推進

- (1) 福利厚生インフォメーションの徹底をはかる。
- (2) 部門間の交流と親睦を深め、部門間の連携を推進し、帰属意識の高揚をはかる。
- (3) 労働安全衛生を推進し、職員の精神面のサポートをはかる。
- (4) 意見箱や退院時アンケート調査など 患者からの評価を職員に周知徹底する。
- (5) 各部署間の平均化をはかり、年休取得のできやすい環境づくりをおこなう。

# 【平成27年度 協和中央病院事業計画】

## I.【目的と役割】

1. 患者様の人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた医療を提供します。
  - ・患者様には十分な説明を行い、安心して医療を受けられるよう努めます。
2. 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽します。
  - ・各職員が自己研鑽を積んで、より良き医療人になるべく努力します。
3. 地域の急性期医療に貢献する病院をめざします。
  - ・積極的に救急の患者様を受け入れます。
4. 地域の要望に応えられる医療を提供します。
  - ・介護・福祉施設と協力し、最適な医療を提供いたします。
  - ・退院後に在宅医療を必要とされる方には、引き続き支援を行います。
5. 健全経営を目指します。
  - ・各職員がコスト意識を持ち、無駄のない医療の提供に努めます。

## II.【協和中央病院院長 年度目標および目標設定】

### 1 健全経営を目指す

採算性を重視した運営管理体制を構築し、病院・施設の健全経営をはかる。

- (1) 診療科ごとに採算ラインを明確にした収入目標の設定をおこなう。
- (2) 採算性を重視した診療体制の構築をおこなう。
- (3) キャッシュフローを重視した財務体質の改善をはかる。
- (4) 損益分岐点を明確にして必要収入を確保につとめる。
- (5) 診療科別・医師別原価計算を実施し医業利益の確保につとめる。
- (6) 業務改善と効率化を推進し間接コストの削減につとめる。
- (7) 業者ごとの見直しを契約更新時または年度ごとに行い経費節減につとめる。
- (8) 採用品目の検討を年度ごと又は定期的に行い経費削減につとめる。
- (9) 医療制度における新たな施設基準取得に向け収入改善をはかる。
- (10) 介護保険マイナス改定を見極め、グループ内の連携をはかり、収入改善につとめる。
- (11) 職員の帰属意識を図り、経営情報の伝達を通じて、経営参画意識を高める。

## 2 診療体制の充実

地域に必要な診療体制を確保する。

- (1) 診療体制の維持充実をはかるために医師の確保をはかる。
- (2) 救急患者の受け入れ態勢を強化する。
- (3) 診療報酬改定に向けた優位性のある施設基準を選択する。
  - ・平成27年10月DPC病院申請に向けた準備を行う。
  - ・感染防止加算Ⅰ申請と感染防止加算Ⅱの申請を行う予定となっている3病院との連携をはかる。
  - ・地域包括診察料の検討。
- (4) グループ施設間の連携を強化し患者・利用者のサービス向上をはかる。
- (5) 地域の需要や医療計画に沿った診療体制の整備をおこなう。
- (6) 医師の診療サポート体制を強化する。  
診療の質の向上のため医師事務補助の業務拡大のための教育と継続の実施。

## 3 人材の確保と教育・育成

病院・施設の運営に必要な人材の確保と教育体制の充実をはかり、次の世代を担う人材の育成に取り組む。

- (1) 各部署必要定数を明確にし、目標数値を持った人材確保に取り組む。
- (2) 産休・育休及び病欠等の代替要員確保に発生部署の確保体制を明確にする。
- (3) 次世代を担う人材を育成するため計画的、継続的に教育を行う。
- (4) 職種間の研修格差を縮小させるために、時間的、予算的配分の平準化をはかる。
- (5) 特色ある福利厚生の実施により新規採用者の確保と離職の防止に努める。

## 4 建物施設の整備

建物施設の老朽化対策及び機能の充実のために必要な整備を行う。

- (1) 建物施設の安全管理体制を構築する。
- (2) 老朽化した設備等の定期点検計画及び改修計画の策定を行う。
- (3) 新規MRI3. OTの導入に向けた増築を行う。

## 5 危機管理体制の構築

災害時及び平時における包括的な危機管理体制の構築を行う。

- (1) 自然災害及び人為災害に対応する危機管理体制を見直す。
  - ・災害対策BCP(事業継続計画)を策定し、模擬訓練を実施する。
- (2) 犯罪行為等に対する安全対策を構築する。
- (3) 電子カルテ、オーダーリングシステムのシステムダウン時の対応を構築し、訓練を実施ならびに外部データ保管計画を具体的に構築する。
- (4) 事案に対する緊急時連絡体制の内訳を明確にし、定期的な訓練を実施する。
- (5) 医療事故や院内安全対策等の強化をはかる。
- (6) 苦情処理や訴訟等の事案について対応策を強化する。

# 平成27年度 臨床指標

項目		値
1 患者満足度調査	【入院】 【外来】	91.17% 87.43%
2 紹介患者率	$\frac{\text{初診患者数}-6\text{才未満}}{\text{紹介された患者数}+\text{救急患者数}}$	31.42%
3 逆紹介患者率	$\frac{\text{開設者と直接関係のない他の病院又は診療所への紹介患者数}}{\text{初診患者数}}$	13.77%
4 死亡退院患者率	$\frac{\text{入院から48時間以上の死亡退院患者数}}{\text{退院患者数}}$	8.85%
5 退院後6週間以内の緊急入院率	$\frac{\text{退院後6週間以内の緊急入院患者数}}{\text{退院患者数}}$	4.27%
6 入院患者の転棟・転落発生率	$\frac{\text{入院中に転倒や転落が発生した全件数}}{\text{延入院患者数}}$	0.29%
7 褥瘡の院内発生率	$\frac{\text{褥瘡発生件数}}{\text{入院実患者数}}$	0.96%
8 急性脳梗塞患者に対する早期リハビリテーション開始率	$\frac{\text{分母のうち「脳血管疾患等リハビリテーション料」が入院から4日以内に算定された患者}}{\text{脳梗塞の発症時期が急性期(発症3日以内)であった退院患者のうち、「脳血管疾患等リハビリテーション料」が算定された患者数}}$	67.44%

9 急性脳梗塞患者における入院死亡率

$$\frac{\text{分母のうち退院時転帰が「死亡」の患者数}}{\text{脳梗塞で発症時期が急性期(発症3日以内)であった退院患者数}} = 4.04\%$$

---

10 出血性胃・十二指腸潰瘍に対する内視鏡的治療(止血術)の施行率

$$\frac{\text{分母のうち「内視鏡的消化管止血術」が算定された患者数}}{\text{急性、出血を伴う「胃潰瘍」又は「十二指腸潰瘍」であった退院患者数}} = 50.0\%$$

---

11 胃がんに対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の施行率

$$\frac{\text{分母のうち「K6532 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)」が施行された患者数}}{\text{胃がん(ステージIA)で胃がん手術が施行された退院患者数}} = 92.30\%$$

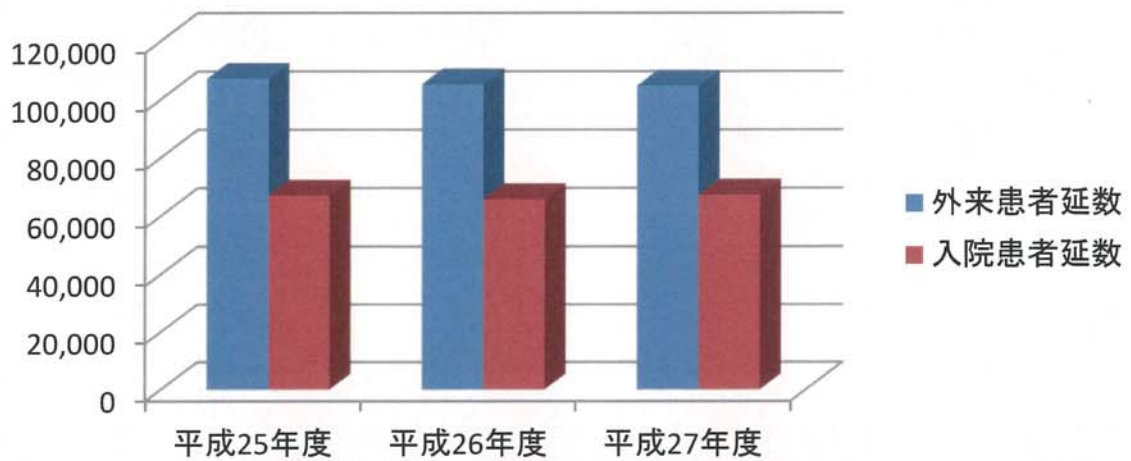


# (1)協和中央病院 年度別患者延数

(単位:人)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
外来	新患者数	14,011	12,970	12,311
	患者延数	107,077	105,079	104,561
	1日平均	366	361	356
入院	入院患者延数	66,979	65,726	67,233
	1日平均	183.0	180.0	184.0

## 病院年度別患者延数推移グラフ



## (2) 平成27年度診療科別・月別患者数(外来患者延数)

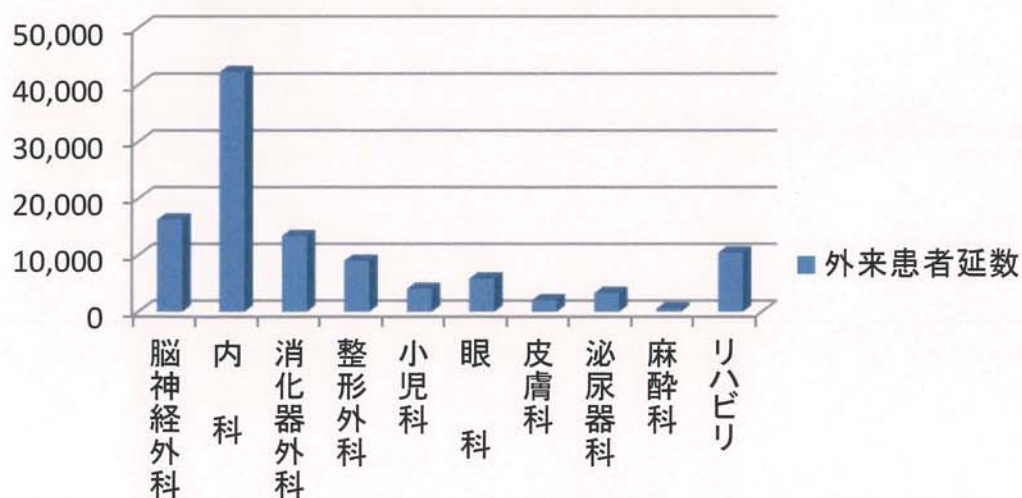
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
外来	脳神経外科	1,361	1,409	1,371	1,466	1,299	1,313
	内科	3,607	3,708	3,532	3,717	3,607	3,246
	消化器外科	1,082	1,110	1,054	1,203	1,095	1,089
	整形外科	792	730	802	764	832	737
	小児科	315	314	290	312	353	313
	眼科	459	544	491	538	527	453
	皮膚科	159	168	150	227	185	215
	泌尿器科	266	296	296	271	288	303
	麻酔科	42	60	40	60	42	35
	リハビリ	810	829	805	859	870	848
合計	8,893	9,168	8,831	9,417	9,098	8,552	

(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	脳神経外科	1,413	1,345	1,339	1,344	1,202	1,405
	内科	3,667	3,383	3,473	3,585	3,218	3,490
	消化器外科	1,178	1,104	1,168	1,115	1,055	1,108
	整形外科	796	746	670	737	657	743
	小児科	308	350	357	374	356	419
	眼科	538	506	472	447	434	449
	皮膚科	183	187	147	180	131	139
	泌尿器科	288	251	261	283	244	290
	麻酔科	52	38	33	54	63	43
	リハビリ	912	855	843	949	868	979
合計	9,335	8,765	8,763	9,068	8,228	9,065	

### 診療科別外来患者延数



### (3) 平成27年度診療科別・月別患者数(入院患者延数)

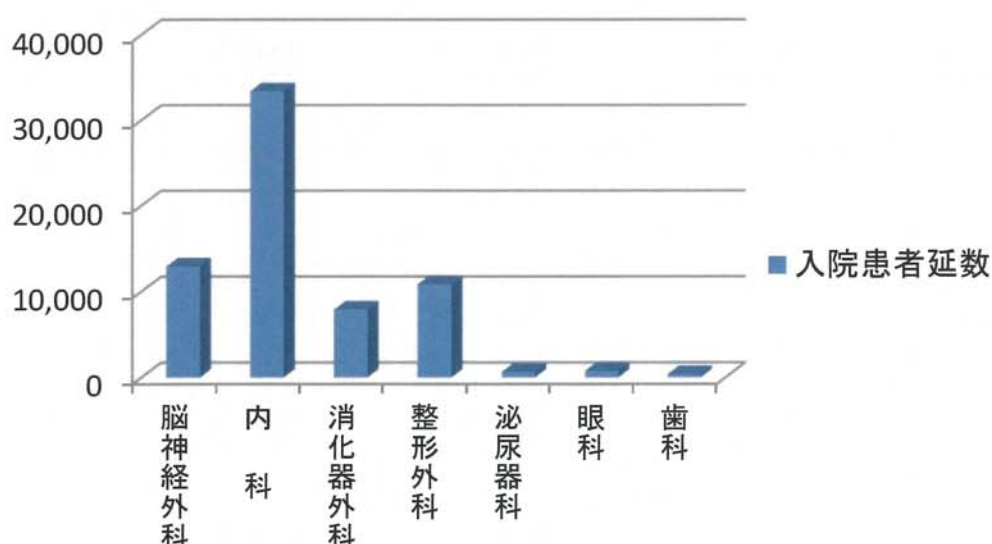
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	脳神経外科	1,188	984	1,001	914	1,031	855
	内科	2,612	2,709	2,762	3,198	3,043	2,506
	消化器外科	754	785	800	666	641	653
	整形外科	1,039	1,128	856	736	727	725
	泌尿器科	29	45	53	77	56	72
	眼科	79	74	34	81	85	80
	歯科	15	57	55	29	13	25
	合計	5,716	5,782	5,561	5,701	5,596	4,916

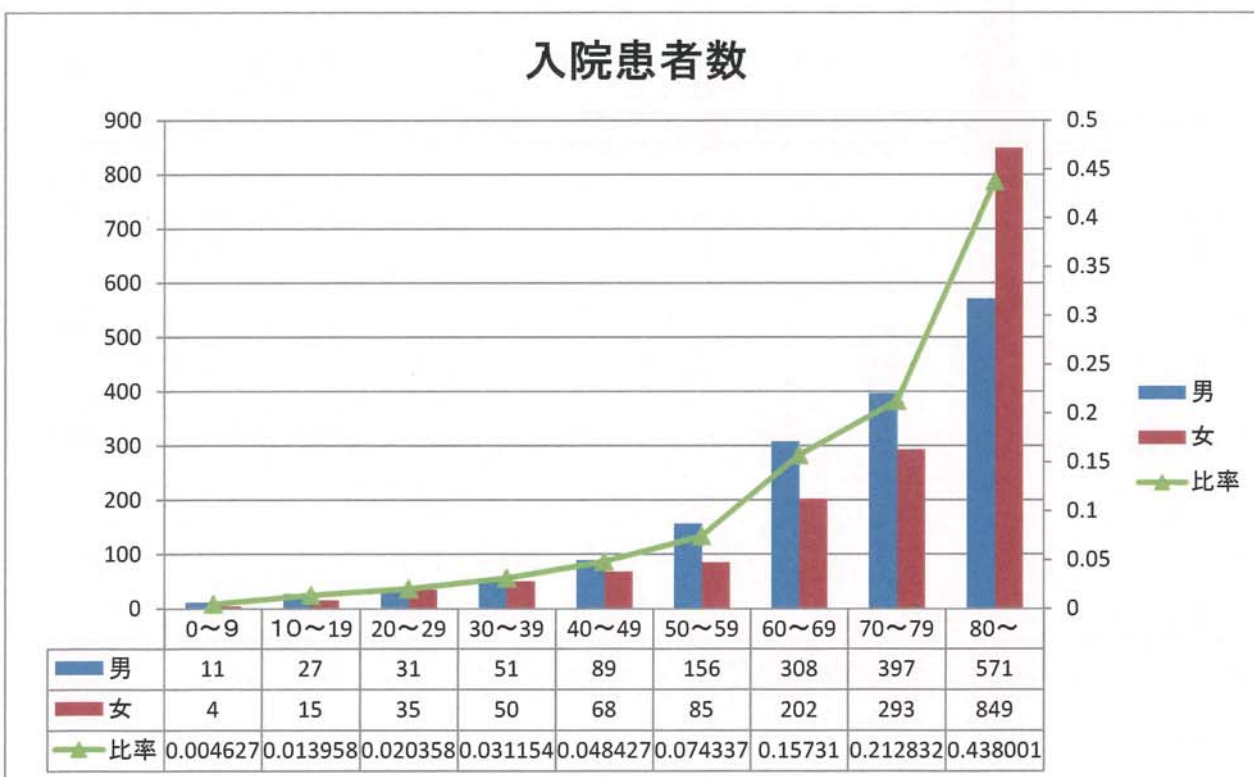
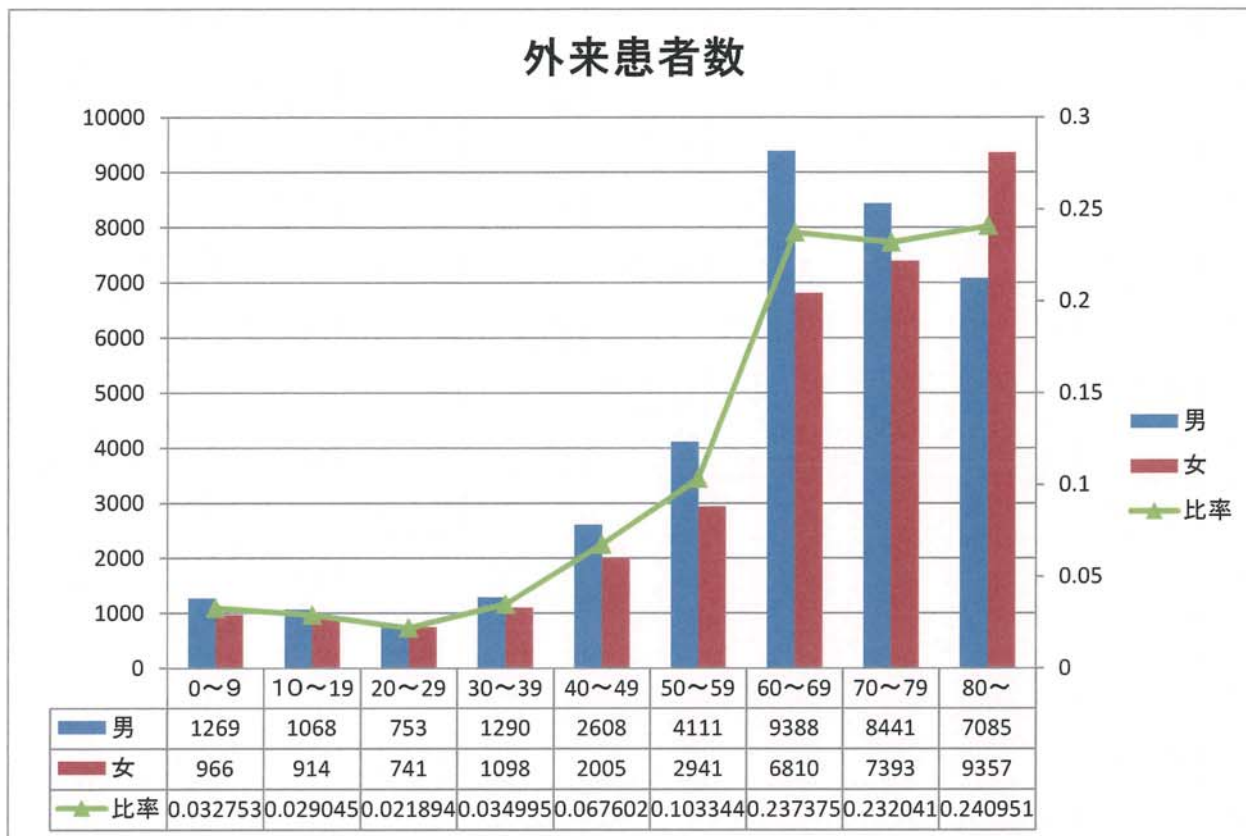
(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	脳神経外科	1,016	1,161	1,321	1,187	1,020	1,269
	内科	2,493	2,619	2,758	3,163	2,598	2,925
	消化器外科	651	635	606	554	632	532
	整形外科	962	892	994	987	979	828
	泌尿器科	22	33	78	79	44	56
	眼科	70	69	41	52	55	68
	歯科	34	19	29	25	47	61
	合計	5,248	5,428	5,827	6,047	5,375	5,739

### 診療科別入院患者延数



## 4) 年齢別患者数



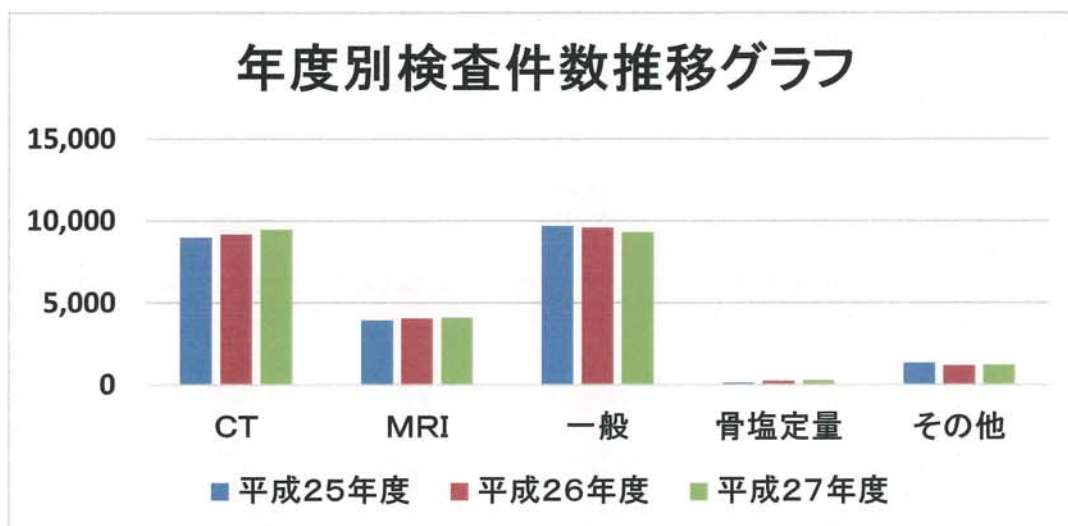
## 5) 地域別患者数

地域区分	地域名 患者数	外来	入院	計	合計	H26	前年比
		64,633	5,021	69,654			
県西	筑西市	48,475	3,453	51,928	68,272	67,550	722
	桜川市	12,938	1,273	14,211			
	結城市	892	96	988			
	下妻市	692	44	736			
	古河市	162	24	186			
	八千代町	113	10	123			
	常総市	34	6	40			
	坂東市	26	6	32			
	境町	9	3	12			
	五霞町	16		16			
	中央	笠間市	619	33			
水戸市		73	5	78			
城里町		20	6	26			
小美玉市		13	1	14			
茨城町		1		1			
大洗町		1		1			
行方市		1		1			
県南	石岡市	134	16	150	405	402	3
	つくば市	123	16	139			
	取手市	28	4	32			
	阿見町	11		11			
	稲敷市	19		19			
	土浦市	18	3	21			
	牛久市	20	1	21			
	つくばみらい市	2		2			
	美浦村	6		6			
	守谷市	2	2	4			
県北	日立市	68	2	70	174	142	32
	常陸大宮市	30	1	31			
	ひたちなか市	37	9	46			
	常陸太田市	14	3	17			
	東海村	2		2			
	那珂市	5		5			
	大子町	3		3			
	鹿嶋市	13		13			
鉾田市	10		10				
潮来市	2	1	3				
神栖市	1	3	4				

## 6)放射線科 年度別検査件数

(単位:件)

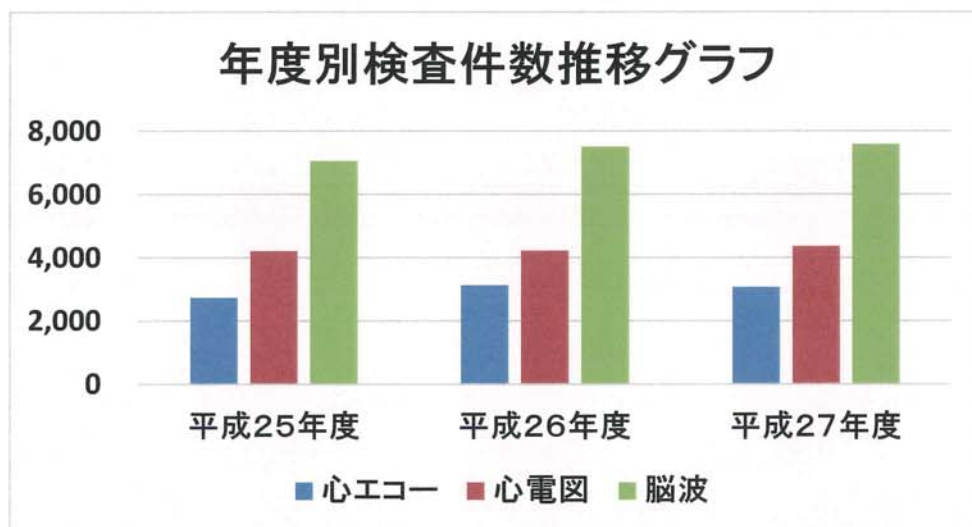
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
CT 入院	1,469	1,692	1,637
外来	7,501	7,470	7,806
計	8,970	9,162	9,443
MRI 入院	546	602	587
外来	3,357	3,417	3,490
計	3,903	4,019	4,077
一般撮影 入院	5,950	5,683	5,555
外来	9,665	9,565	9,295
計	15,615	15,248	14,850
骨塩定量	101	214	272
その他	1,324	1,155	1,200
合計	29,913	29,798	29,842



## 7)検査科年度別検査件数

(単位:件)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
心エコー	入院	400	442	382
	外来	362	485	545
胸腹部	入院	252	338	253
	外来	1,308	1,446	1,493
その他	入院	102	78	60
	外来	302	333	327
計		2,726	3,122	3,060
心電図	入院	1,957	2,129	2,050
	外来	2,246	2,087	2,300
計		4,203	4,216	4,350
脳波	入院	24	54	49
	外来	103	111	127
計		127	165	176
合計		7,056	7,503	7,586

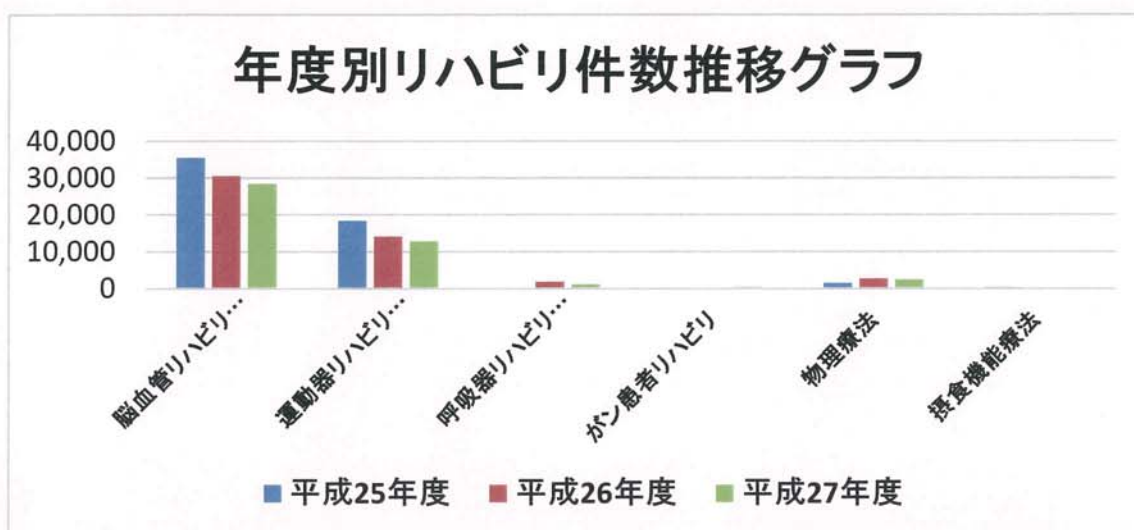


## 8)リハビリ科 年度別リハビリ件数

(単位:件)

		平成25年度	平成26年度	平成27年度
入院	脳血管リハビリ(I)	23,722	19,951	17,856
	運動器リハビリ(I)	13,753	10,067	7,177
	呼吸器リハビリ(I)	0	1,657	885
	がん患者リハビリ	0	119	344
	物理療法	0	0	0
	摂食機能療法	222	88	82

外来	脳血管リハビリ(I)	11,621	10,461	10,477
	運動器リハビリ(I)	4,494	3,982	5,554
	呼吸器リハビリ(I)	0	68	168
	物理療法	1,417	2,588	2,308





## 9) 歯科口腔外科 年度別患者延数

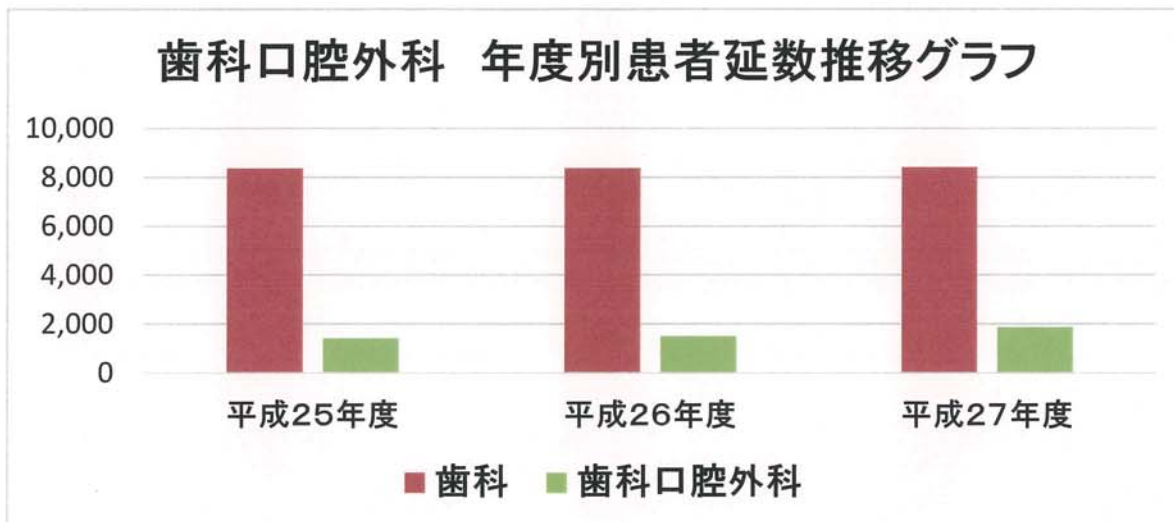
(単位:人)

外来患者延数	平成25年度	平成26年度	平成27年度
歯科	8,353	8,363	8,405
歯科口腔外科	1,410	1,499	1,862

入院患者延数	331	353	311
手術件数(全身麻酔件数)	80(54)	110(84)	119(93)

### 主要手術名称

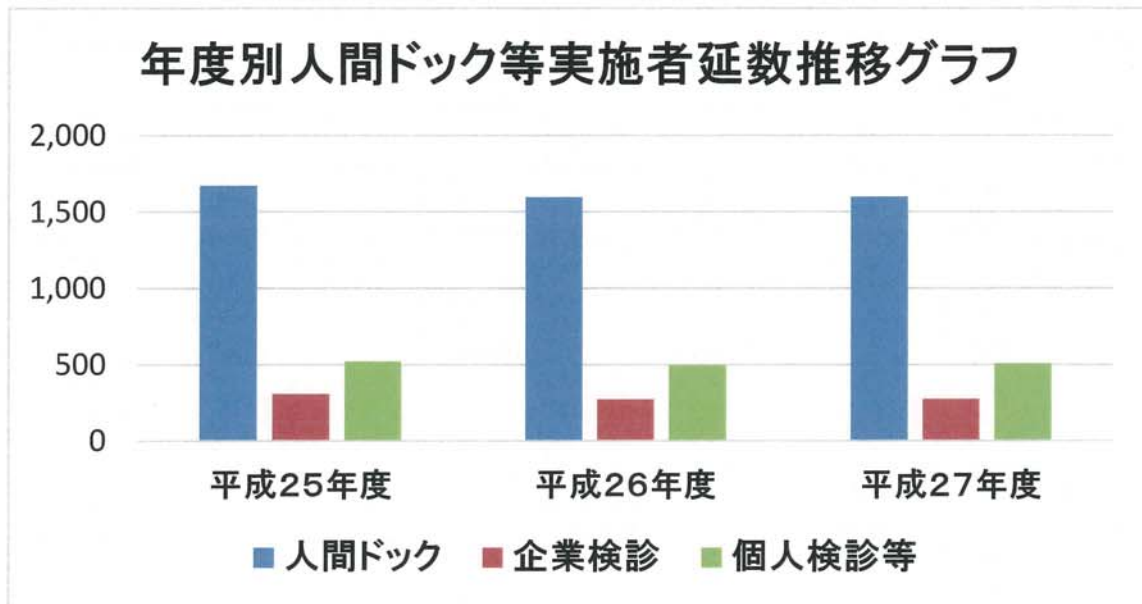
埋伏歯抜歯手術	歯根端切除手術	顎骨腫瘍摘出術
過剰歯抜歯手術	歯根嚢胞摘出術	口蓋腫瘍摘出術
がま腫摘出術	上顎正中埋伏過剰歯抜歯	腐骨除去手術
下顎骨折観血の手術	舌腫瘍摘出術	萌出困難歯開窓術
下顎隆起形成術	舌小帯形成手術	



# 10) 健康医学管理課 人間ドック等実施者延数

(単位:人)

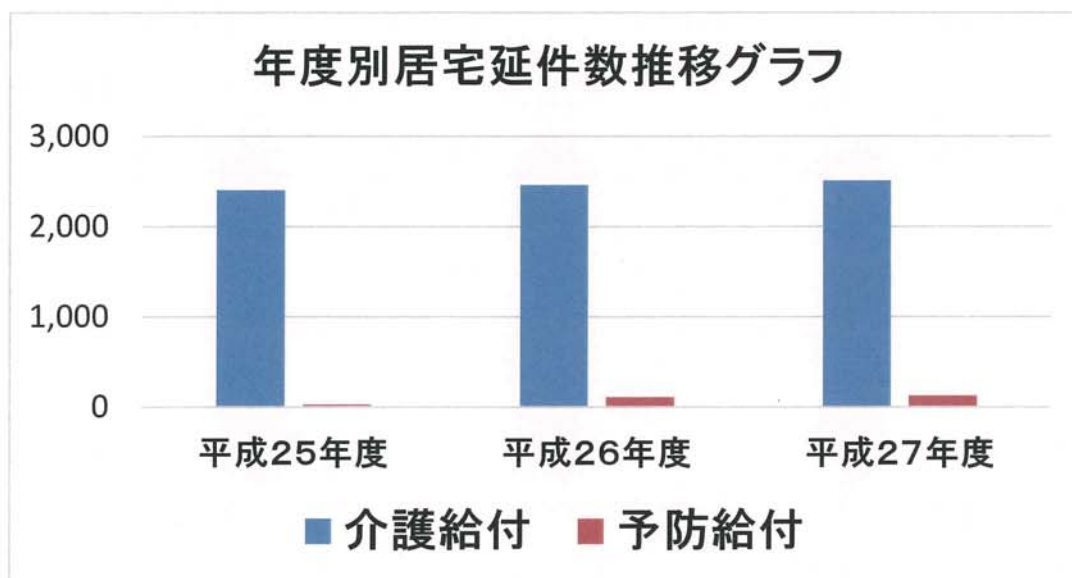
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
人間ドック	1,673	1,597	1,601
企業検診	308	272	273
個人検診等	523	496	507



## 11) 居宅支援事業 年度別居宅延件数

(単位:件)

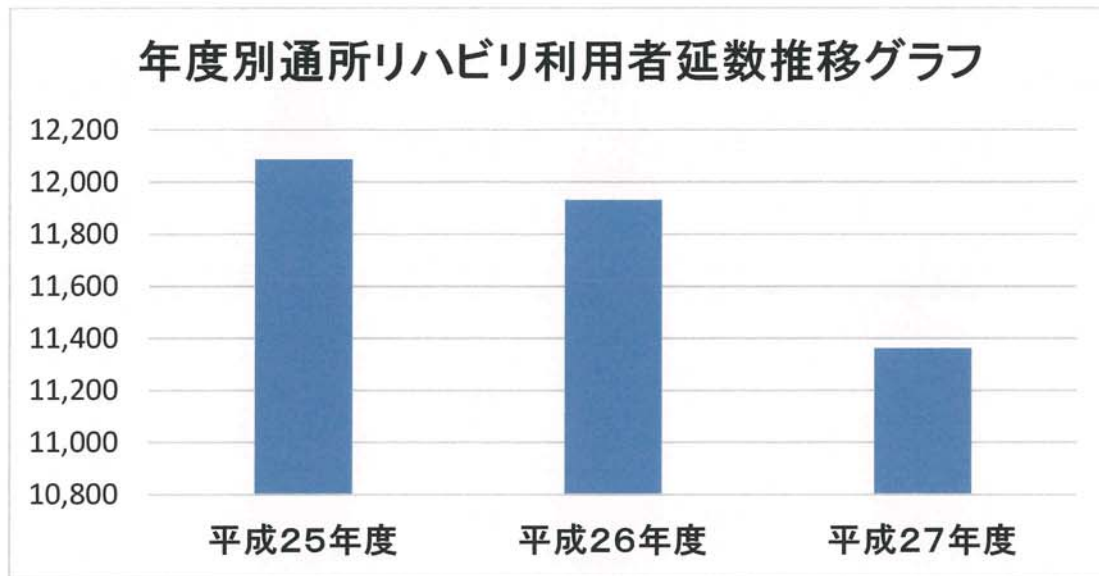
	平成25年度	平成26年度	平成27年度
介護給付	2,399	2460	2511
予防給付	27	109	127



## 12) 通所リハビリ 年度別利用者延数

(単位:人)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数	12,087	11,931	11,361



### 13) 手術件数(上位20項目)

	手術名称	件数
1	抜歯手術(埋伏歯・過剰歯等)	126
2	水晶体再建術	123
3	骨折観血の手術(四肢)	100
4	鼠径ヘルニア手術	75
5	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術	64
6	関節内異物・骨内異物(挿入物を含む)除去術(四肢)	57
7	関節内骨折観血の手術(四肢)	44
8	慢性硬膜下血腫穿孔洗淨術	43
9	胃瘻造設術	42
10	人工骨頭挿入術(股)	39
11	虫垂切除術	33
12	直腸切除・切断術	30
13	腹腔鏡下胆嚢摘出術	27
14	胆嚢摘出術	24
	内視鏡的消化管止血術	24
15	顎骨腫瘍摘出術	23
16	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	20
17	中心静脈注射用植込型カテーテル設置(頭頸部その他)	19
18	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)	14
19	胃全摘術(悪性腫瘍手術)	13
	内視鏡的乳頭切開術	13
20	胆管切開結石摘出術(胆嚢摘出を含む)	12
	内視鏡的胆道ステント留置術	12

## 14) 疾病中分類

	中分類項目	ICD分類コード	合計	比率
	患者数		3243	100%
1	腸管感染症	A00-A09	74	2.3%
2	結核	A15-A19	3	0.1%
4	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	B00-B09	5	0.2%
5	ウイルス肝炎	B15-B19	10	0.3%
6	その他のウイルス疾患	A80-A99,B20-B34	5	0.2%
7	真菌症	B35-B49	1	0.0%
9	その他の感染症及び寄生虫症	A00-B99の残り	10	0.3%
10	胃の悪性新生物	C16	59	1.8%
11	結腸の悪性新生物	C18	35	1.1%
12	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	C19-C20	43	1.3%
13	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	10	0.3%
14	気管, 気管支及び肺の悪性新生物	C33-C34	21	0.6%
15	乳房の悪性新生物	C50	2	0.1%
16	子宮の悪性新生物	C53-C55	2	0.1%
17	悪性リンパ腫	C81-C85	4	0.1%
18	白血病	C91-C95	5	0.2%
19	その他の悪性新生物	C00-C97の残り	71	2.2%
20	良性新生物及びその他の新生物	D00-D48	26	0.8%
21	貧血	D50-D64	34	1.0%
23	甲状腺障害	E00-E07	1	0.0%
24	糖尿病	E10-E14	30	0.9%
25	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	E15-E90	115	3.5%
26	血管性及び詳細不明の認知症	F01,F03	6	0.2%
27	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F10-F19	11	0.3%
29	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	F30-F39	5	0.2%
30	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	F40-F48	4	0.1%
32	その他の精神及び行動の障害	F00-F99の残り	1	0.0%
33	パーキンソン病	G20	4	0.1%
34	アルツハイマー病	G30	10	0.3%
35	てんかん	G40-G41	40	1.2%
36	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	G80-G83	3	0.1%
37	自律神経系の障害	G90	6	0.2%
38	その他の神経系の疾患	G00-G99の残り	30	0.9%
40	白内障	H25-H26	100	3.1%
42	その他の眼及び付属器の疾患	H00-H59の残り	24	0.7%
45	中耳炎	H65-H67	1	0.0%
47	メニエール病	H81.0	4	0.1%
48	その他の内耳疾患	H80,H81.1-H83	69	2.1%
50	高血圧性疾患	I10-I15	11	0.3%
51	虚血性心疾患	I20-I25	53	1.6%
52	その他の心疾患	I01-I02.0,I05-I09,I27,I30-I52	105	3.2%
53	くも膜下出血	I60,I69.0	12	0.4%
54	脳内出血	I61,I69.1	54	1.7%
55	脳梗塞	I63,I69.3	218	6.7%
57	その他の脳血管疾患	I62,I64-I67.1,I67.3-I68,I69.2,I69.4-I69.8	12	0.4%
58	動脈硬化(症)	I70	7	0.2%
59	痔核	I84	5	0.2%
60	低血圧(症)	I95	9	0.3%
61	その他の循環器系の疾患	I00-I99の残り	19	0.6%
63	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	J02-J03	4	0.1%
64	その他の急性上気道感染症	J01,J04-J06	1	0.0%
65	肺炎	J12-J18	176	5.4%
66	急性気管支炎及び急性細気管支炎	J20-J21	13	0.4%
70	慢性閉塞性肺疾患	J41-J44	28	0.9%
71	喘息	J45-J46	20	0.6%
72	その他の呼吸器系の疾患	J00-J99の残り	206	6.4%

#### 14) 疾病中分類

	中分類項目	ICD分類コード	合計	比率
	患者数		3243	100%
73	う蝕	K02	9	0.3%
74	歯肉炎及び歯周疾患	K05	4	0.1%
75	その他の歯及び歯の支持組織の障害	K00-K01,K03-K04,K06-K08	81	2.5%
76	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K25-K27	33	1.0%
77	胃炎及び十二指腸炎	K29	5	0.2%
78	アルコール性肝疾患	K70	15	0.5%
80	肝硬変(アルコール性のものを除く)	K74.3-K74.6	9	0.3%
81	その他の肝疾患	K71-K72,K74.0-K74.2,K75-K77	13	0.4%
82	胆石症及び胆のう炎	K80-K81	139	4.3%
83	膵疾患	K85-K86	12	0.4%
84	その他の消化器系の疾患	K00-K93の残り	373	11.5%
85	皮膚及び皮下組織の感染症	L00-L08	30	0.9%
87	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	L10-L14,L40-L98	16	0.5%
88	炎症性多発性関節障害	M05-M14	8	0.2%
89	関節症	M15-M19	2	0.1%
90	脊椎障害(脊椎症を含む)	M45-M49	17	0.5%
91	椎間板障害	M50-M51	5	0.2%
93	腰痛症及び坐骨神経痛	M54.3-M54.5	3	0.1%
94	その他の脊柱障害	M40-M43, M53.0, M53.2-M53.9, M54.0-M54.2, M54.6-M54.9	1	0.0%
96	骨の密度及び構造の障害	M80-M85	3	0.1%
97	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99の残り	23	0.7%
98	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	N00-N16	25	0.8%
99	腎不全	N17-N19	20	0.6%
100	尿路結石症	N20-N23	4	0.1%
101	その他の腎尿路系の疾患	N25-N39,N99.0-N99.1,N99.4-N99.9	72	2.2%
103	その他の男性生殖器の疾患	N41-N51	4	0.1%
105	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	N60-N90, N93, N94.1-N94.2,N96-N98,N99.2-N99.3	1	0.0%
113	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	Q00-Q18,Q25-Q99	2	0.1%
115	骨折	S02,S12,S22,S32,S42,S52,S62,S72,S82,S92,T02,T08,T10,T12	320	9.9%
116	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	S06,S26-S27,S36-S37	66	2.0%
118	中毒	T36-T65	7	0.2%
119	その他の損傷及びその他の外因の影響	S00-T98の残り	84	2.6%

### 15) 救急・時間外患者数

平成27年度

		平成26年度	平成27年度	前年比	月平均	
救急車受入患者数①		1,741	1,797	56	150	
内訳	時間内	入院	423	446	23	37
		外来	285	325	40	27
		計	708	771	63	64
	時間外	入院	448	474	26	40
		外来	585	552	-33	46
		計	1,033	1,026	-7	86
時間外患者数②		2,676	2,268	-405	189	
内訳	入院	271	329	58	27	
	外来	2,405	1,939	-466	162	
合計(①+②)		4,417	4,065	-352	339	